

ケアマネ通信おびひろ

第13号（令和6年3月28日発行）

目次

- 1、令和5年度 第3回学習会 開催報告
- 2、令和5年度 意見交換会 開催報告
- 3、令和5年度 多職種交流会 開催報告
- 4、令和5年度 第2回研修会 開催報告
- 5、いやしのオフタイム
- 6、お知らせ
- 7、その他（審査会委員募集・事務局からのお願い）

令和5年度 第3回学習会

〈令和5年12月11日開催〉

～ 旅立ちに寄り添う心のケア ～

居宅介護支援事業所太陽 松山 麻理子

私は信仰も深くなく、仏教とは・・・と言われても難しい話では？と思っていましたが、高松住職の話は分かりやすく、色々な経験の話や、普段使われている「挨拶」も、もとは仏教語だそうで、何気ない日常の中に宗教とのつながりがあることを知りました。

専門家としての立場で日常との区画化、傾聴と受容の大切さや、何より気配りが大事との話を聞いて、ケアマネの仕事をして6年近くになり、たくさんの利用者様との出会いやお別れがありましたが、私は気配りができていたかな・・・寄り添って話を聴いていたかな・・・と反省ばかりです。

これからは、思いやりの気持ちを大事に利用者様と向き合えたら・・・と思いました。このような学習会を開いていただき、ありがとうございました。



講師は曹洞宗龍雲寺住職
NPO法人クロユリの会理事長
高松 芳明氏



令和5年度 意見交換会

〈令和5年12月22日開催〉

『恥ずかしくて今更聞けない事を聞いちゃいましょう!』

令和5年12月に開催された「令和5年度 意見交換会」への参加させて頂きました。参加人数は少なかったですが、私にとって非常に有意義な時間となりました。特に、養護老人ホームの施設の業務や現状に関する議論は、私にとって非常に興味深いものでした。入居申し込みが市役所であったり、経済的に難しい方が優先される等のルールがある事で、なかなか利用につなげられなかったり、まさに今更聞けない事を確認することが出来ました。また他施設のケアマネージャーや関係者からの意見や経験を聞くことで、事業所の課題や改善点について、新たな視点を得ることができました。これらの知識や洞察は、今後の業務において役立つものになると思えました。

このような意見交換の場を企画して頂いた関係者に感謝し、今後も同様の機会を積極的に活用して、是非、この有益な機会を沢山の会員の皆様と共有したいと思うと共に、自身のスキル向上と施設のサービス向上に努めていきたいと思えます。

居宅介護支援事業所はるか 山本 修平



令和5年度 多職種交流会

〈令和6年1月26日開催〉

ケアマネジメントセンターほほえみ 高橋 俊介

帯広市介護支援専門員連絡協議会主催の多職種交流会「老健相談員様との交流」に参加させて頂きました。居宅介護支援事業所で勤務している私にとって、老健相談員との関わりは非常に重要です。ケアカフェ形式で行なった開催方法が良く、顔馴染みの相談員とはざっくばらんに、初めて会う相談員とは肩の力を抜いて会話を楽しむ事が出来ました。

相談員への情報提供で「家族の状況についての情報があると助かる。退所後の生活をイメージするために介護力は重要な情報である。」と相談員からの発言を聞き、入所の地点から在宅復帰を目指す、在宅復帰施設としての意識の高さに感心しました。今後介護力についての情報は特に意識して相談員に伝えて行きたいと思えます。

和やかな雰囲気の中でも新しい発見や、気づきに出会える場に参加できたことを嬉しく思います。今後もこのような交流の場を企画して頂けるのを楽しみにしています。



令和5年度 第2回研修会

〈令和6年3月23日開催〉

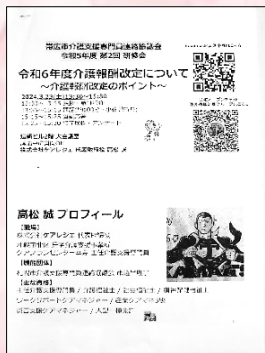
『令和6年度介護報酬改定について』

指定居宅介護支援事業所そらいろ 樋口 利絵



講師：高松 誠 氏

今回の研修会は3年に一度の法改正についてがテーマでしたので、大いに関心を持って参加させていただきました。来るべき4月からの改定のポイントについてケアプラン点検の解説でいつもお世話になっている高松講師よりわかりやすく解説していただき介護支援専門員が押さえておくべき重要な点を学習する事ができました。また、今回の改定での通減制緩和を受け、介護支援専門員がバーンアウトしないようにするための注意点についても解説していただき考えさせられました。今回の学びを活かしていきたいと思ひます。



～いやしのオフタイム～

社会福祉法人 真宗協会 第1層生活支援コーディネートの大江教史です。『帯広市民が高齢になっても安心して暮らせるように、生活に関わるサービスや活動の基盤整備をする事業～帯広市生活支援体制整備事業～』において担い手の育成講座や地域の支え合い活動の支援などを担当しております。



私の～いやしのオフタイム～は2019年頃から始めた『キャンプ』です。非日常感を味わいながらお酒を飲んだりポーっとしたりするのが好きで、焚火やアウトドアレジャーは一切しないスタイルで楽しんでいます。自然に遊んでいただくという行いゆえに回数を重ねると『いやし』だけではなく『キツネにテントをかじられる』『夜中に突然天候が急変し強風のなか撤退を余儀なくされる』『まつ毛が凍るほど寒く眠れない』など過酷さも体験するの



ですが、数回に1回『素晴らしいキャンプ＝名勝負』が生まれることがあり、ベチャベチャになったテントを家で干していても「またキャンプに行きたいな・・・」と思ってしまう魅力がキャンプにはあります。

★ おしらせ ★

■事務局より

・令和6年度 定期総会

日時:令和6年5月中旬頃開催予定

場所:集合形式で開催する方向で調整中

※詳細がまとまり次第ご案内いたします。

※「ケアマネの輪」については、編集の都合上、お休みさせていただきます。

帯広市介護認定審査会委員の募集

帯広市介護支援専門員連絡協議会では、帯広市の「介護認定審査委員」を募集しています。認定審査の仕組みなど大変勉強になると思います。自薦・他薦は問いませんので、ぜひやってみたい方は事務局までお問い合わせください（応募者多数の場合は調整します）。

要件

- 本会会員であること
- 本会を代表して審査会委員を担えること
- 所属事業所から許可が得られること（報酬がありますので）
- おおむね3か月以上担当できること（場合により継続あり）

事務局 早川雅友・金井正樹

【事務局からのお願い】

- ★連絡先や勤務先が変わったり、名字が変更になった場合、ホームページにある「入退会・変更届出書」の書式を活用し、速やかに提出ください。
- ★会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。メールアドレスの登録についてもご協力をお願いします。
- ★新規入会は随時受け付けています。「入退会・変更届出書」はホームページから入手できますので、詳細については事務局までご連絡ください。

<http://keamane.yokochou.com/>
事務局：早川雅友・金井正樹

【編集後記】

春の陽気を少しずつ感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

ケアマネ通信も令和5年度最後の発行となりました。あつという間の1年だったような…。

これまでを振り返り、ウィズコロナの中でケアマネ連協の活動もZOOM形式から対面集合形式へと変わり、以前のように会員同士の距離感を身近に感じる事が出来た1年でした。

令和6年度は連協20周年の記念すべき年であり、今年の秋頃に記念行事を予定しております。今後も感染症に負けず、『ひとりぼっちのケアマネをつくらない』あたたかい活動を進めてまいりますので皆様応援宜しくお願い致します。

今年度のケアマネ通信をご覧くださり誠にありがとうございました。

総務部 前賢太郎